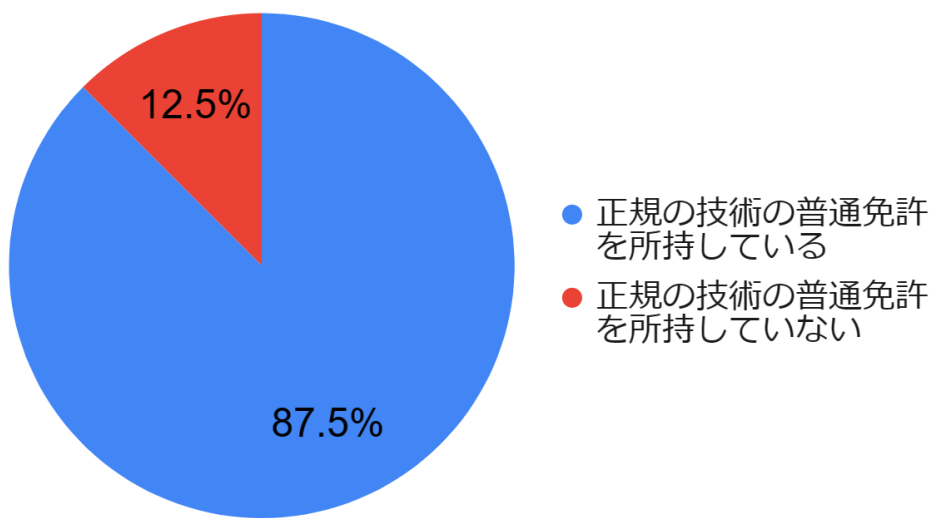


(技術) 令和4年度 神奈川県技術・家庭科研究部会調査 (回答)

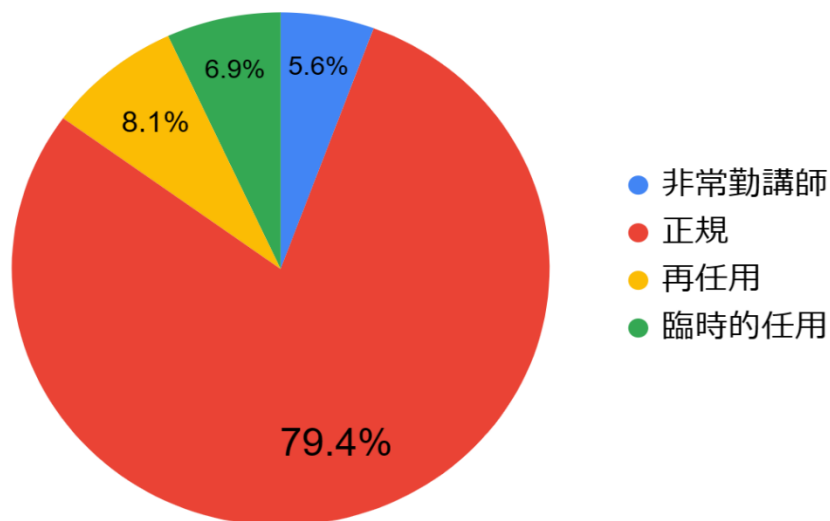
【1】 地区名を選んでください

地区	回答数
横三	19
横浜	60
県央	5
県西	8
湘南	21
川崎	14
相模原	10
中	23

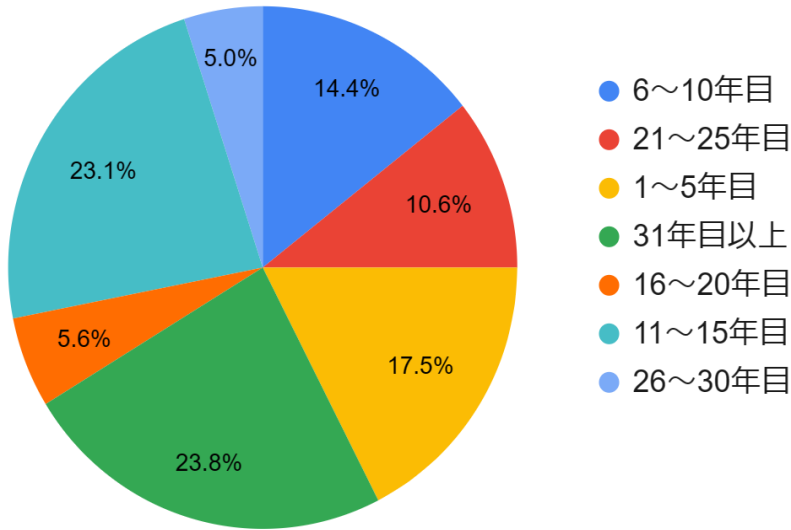
【4】 所持免許について教えてください。



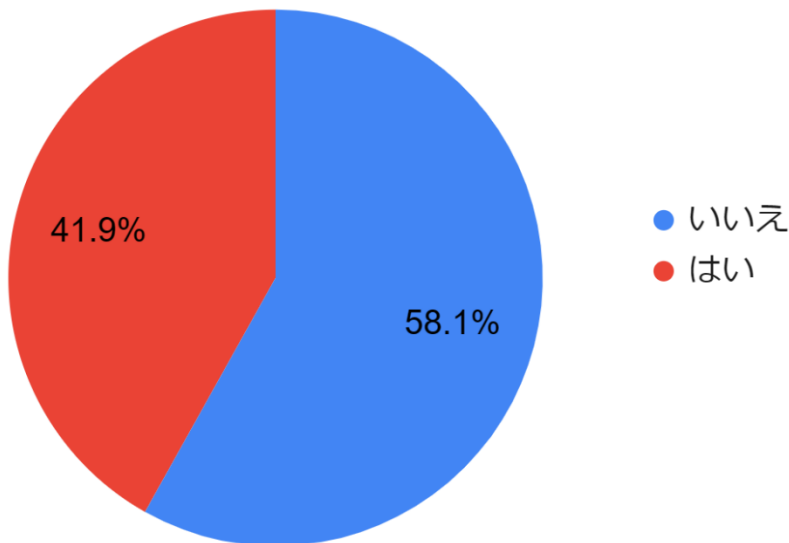
【5】 勤務形態を教えてください。



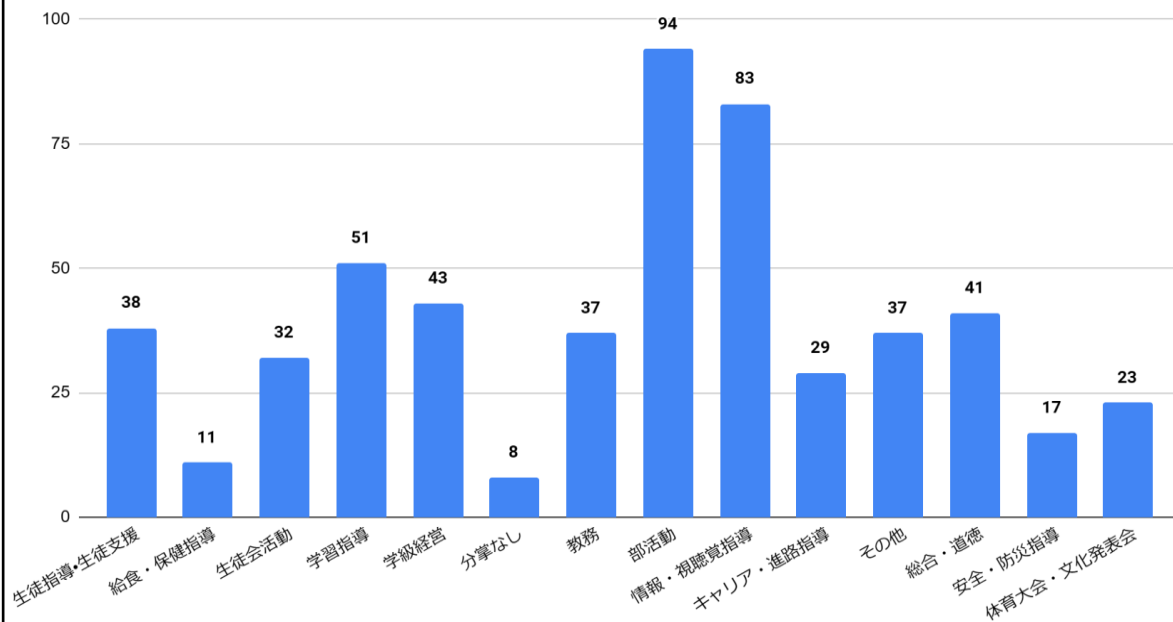
【6】 経験年数を教えてください。



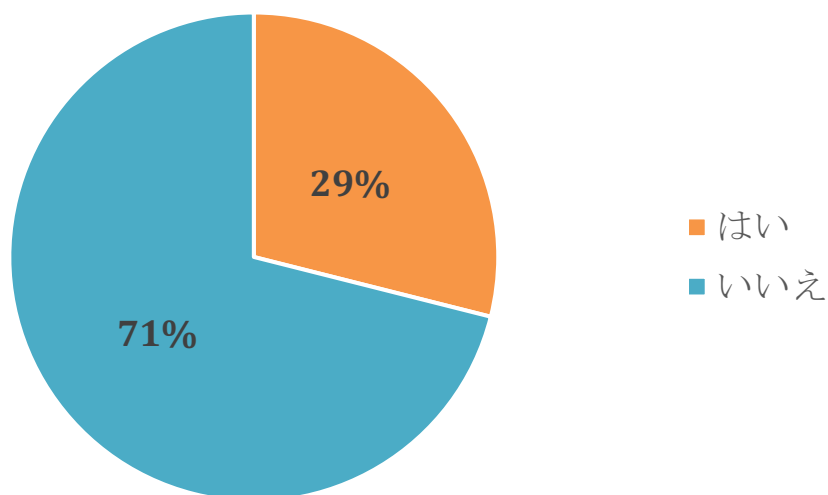
【7】 学級担任をもっていますか



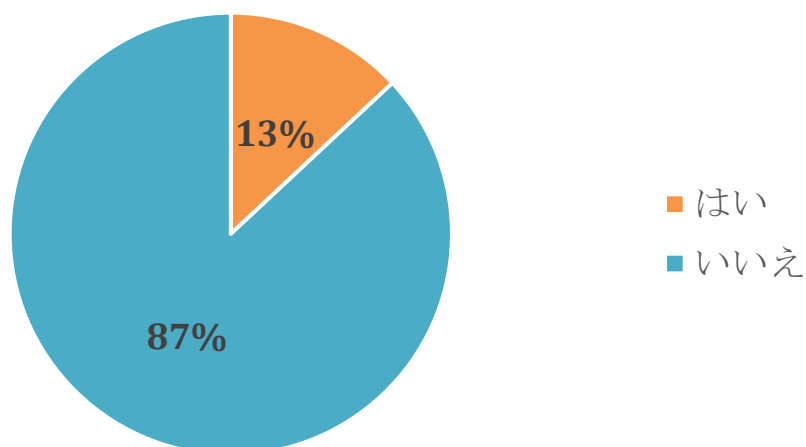
【8】 あなたの担当している校務分掌を選んでください。



【9】 技術以外の教科を担当していますか？



【10】 あなたの学校では、技術の授業を、他教科の先生が受け持っていますか？

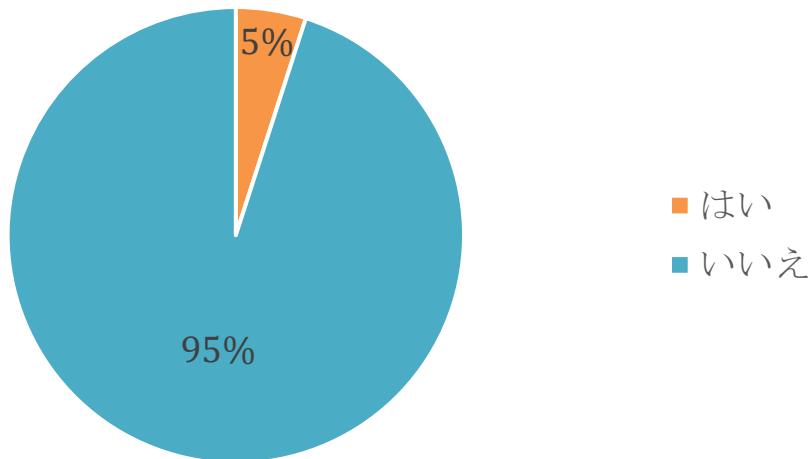


【11】 上の質問で『はい』と答えた先生は、専科を教えてください。

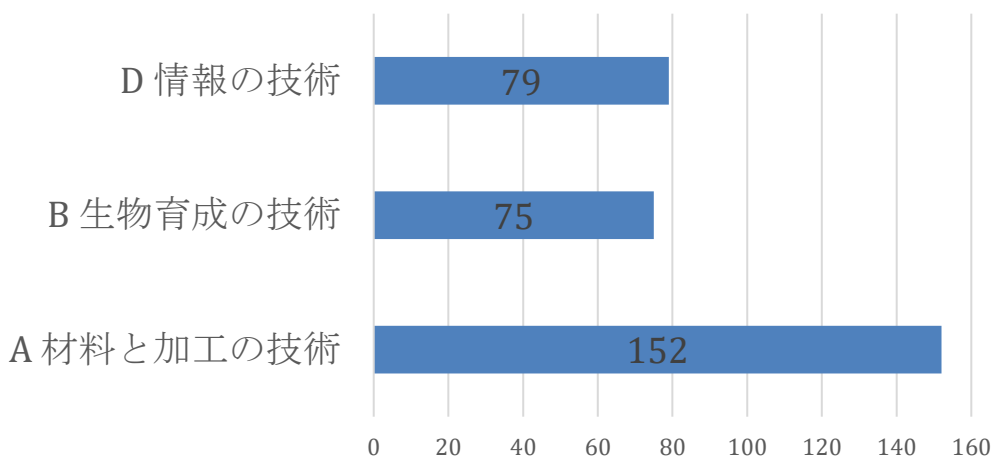
- ・国語（1人）
- ・数学（9人）
- ・理科（5人）
- ・社会（2人）
- ・家庭（5人）

計 22人

【12】 あなたの学校には、技術科の教員が複数名いますか？

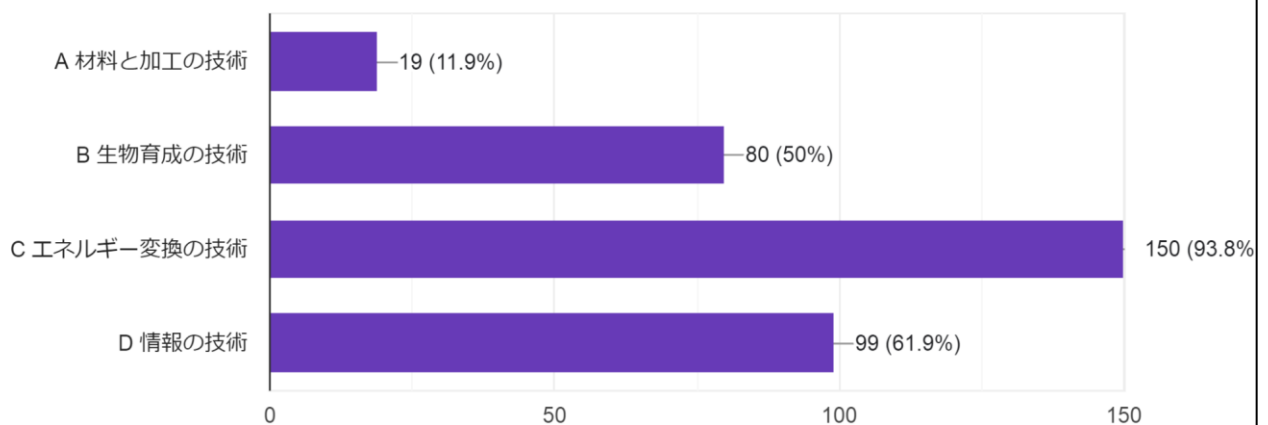


【13】 1年生で履修する予定の内容について、選んで下さい。



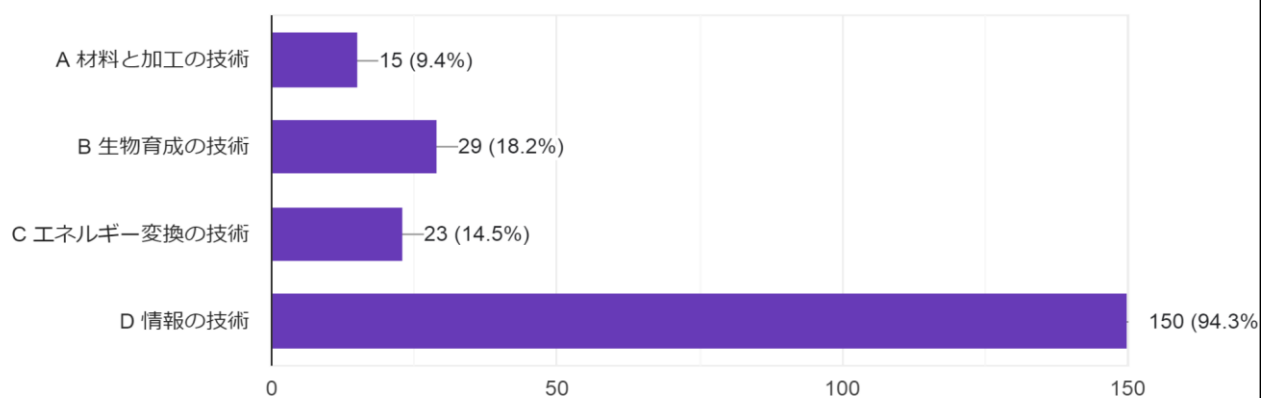
【14】 2年生で履修する予定の内容について、選んでください。

160 件の回答



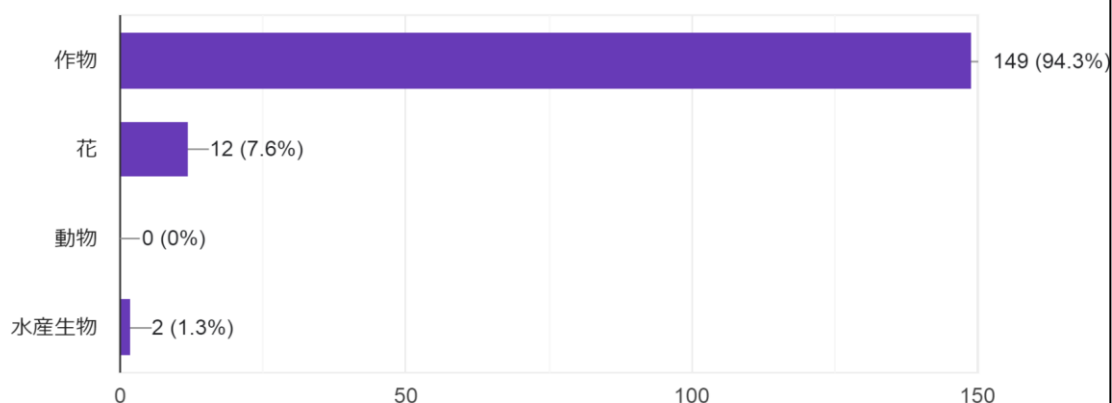
【15】 3年生で履修する予定の内容について、選んでください。

159 件の回答



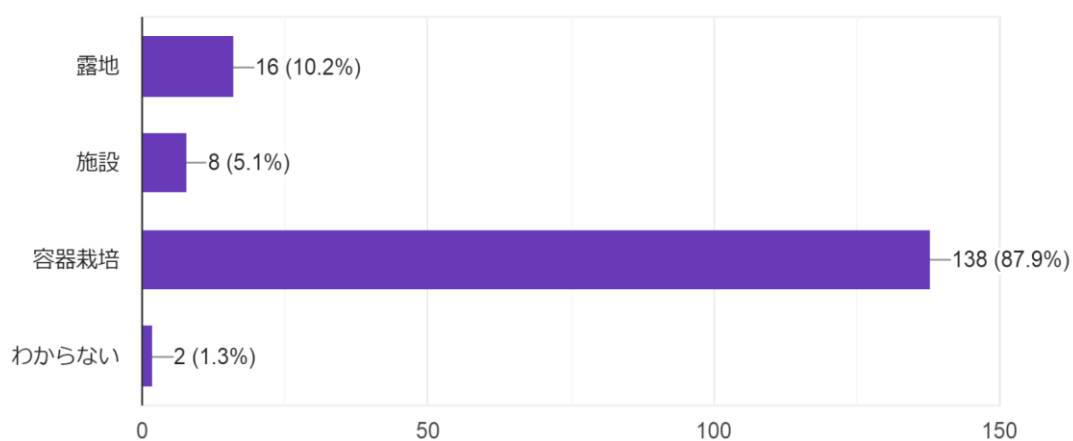
【16】 生物育成の技術では、何を育てていますか？

158 件の回答



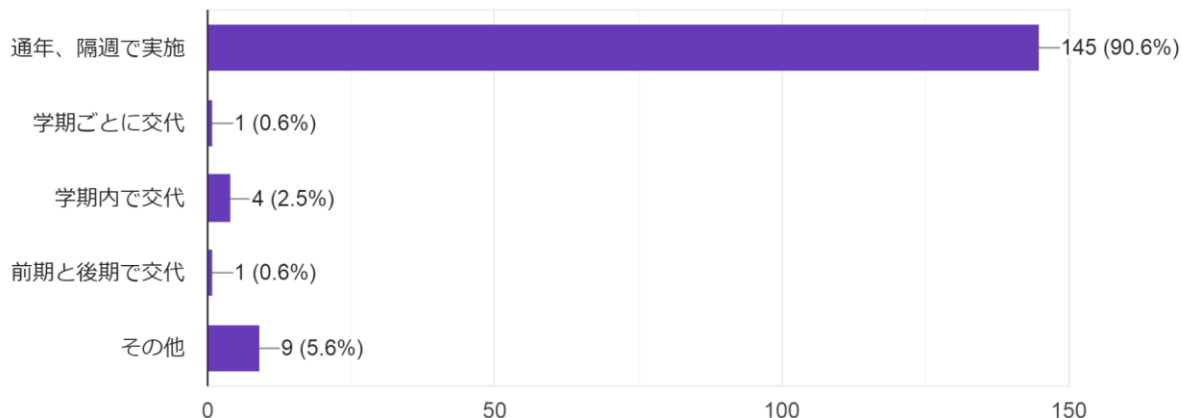
【17】 作物等を栽培している学校は、どのような環境で育てていますか？

157 件の回答



【18】 第3学年の授業をどのように実施していますか？

160件の回答



その他（9件）

- ・ 单元ごとに技術分野と家庭分野をかえる（横三 長井）
- ・ 少人数制（横浜 舞岡）
- ・ 少人数（横浜 いずみ野）
- ・ 学級を前後半に分けて隔週で実施（中 大住）
- ・ 少人数で隔週実施（横浜 鴨居）
- ・ 半分に分けて少人数授業（横浜 旭北）
- ・ 技家合同（横浜 橘）
- ・ 学習内容ごとに技術分野、家庭分野を交代で行っています。（中 春日野）
- ・ 1人で技・家両方を担当しているため、授業の内容に応じて「技術 3時間連続→家庭 3時間連続実施」のようにある程度まとめて授業を行っています。（横浜 中川）

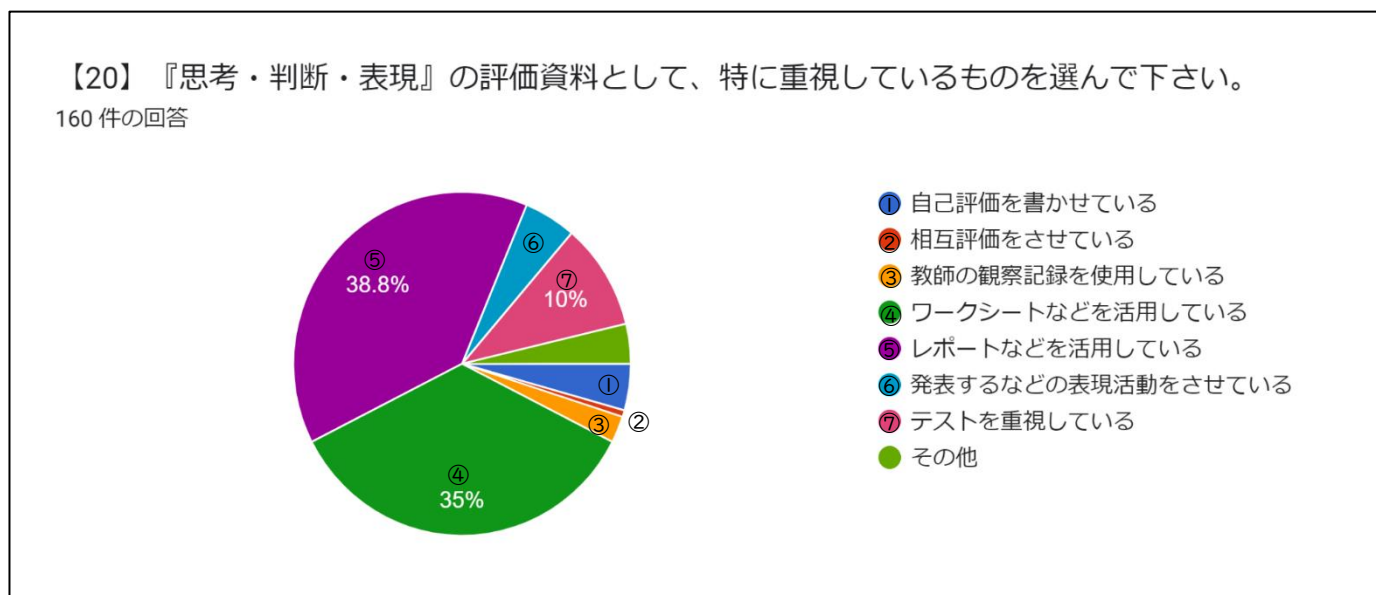
【19】 『知識・技能』の評価資料として、特に重視しているものを選んで下さい。

160件の回答



## その他（14件）

- ・実習、レポート、定期試験など総合している。重視しているものはない。
- ・作業の正確さとテストを重視
- ・作品（2回答）
- ・作業工程ごとの作品の評価
- ・テストと製作物
- ・生徒の作品
- ・作品や技能試験など
- ・実技として作品を重視したいと考えている。
- ・テスト、作品
- ・知識の大半をテスト、技能の大半を製作品やワークシートで評価しています
- ・定期テストと製作物や作業の観察記録を同じ割合
- ・知識でテスト重視、技能の方で作品等を重視し、50：50で評価しています。
- ・製作物（制作物）の過程の様子と完成品の様子

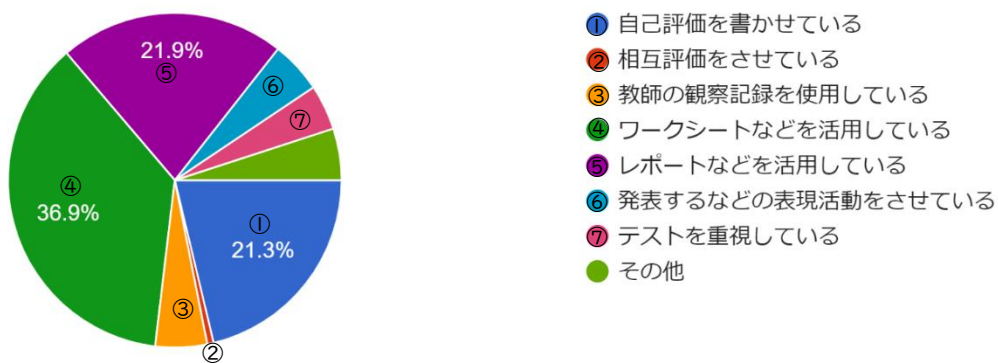


## その他（6件）

- ・ワークシート、レポート、自己評価、定期試験など総合して評価しており、重視しているものはない。
- ・テストも使っているが、ワークシートなども重視している
- ・プログラミングの実習で制作したものの成果物や作品
- ・設計・計画、問題解決レポート、定期テスト、社会の発展と技術の学習
- ・テスト、作品、自己評価
- ・作品

【21】『主体的に学習に取り組む態度』の評価資料として、特に重視しているものを選んで下さい。

160件の回答



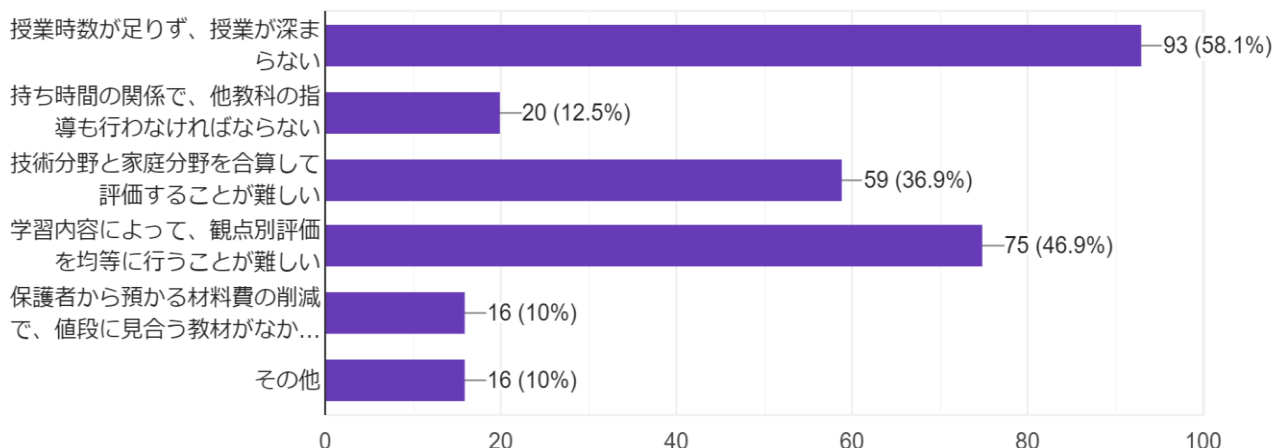
### その他（8件）

- ・自己評価、相互評価、ワークシートなどを総合的に評価しており、重視しているものはない。
- ・特にどれを重視するのではなく、それぞれ少しずつ使っている
- ・作業の計画と振り返りを重視している
- ・知識技能、思考判断、提出物や取り組みより総合的に判断
- ・レポートの感想、問題解決のふり返し、社会の発展と技術の学習
- ・他の観点を総合的に評価したものを基準としている
- ・自己評価、観察記録
- ・テスト・作品・ワークシート等を総合的に評価しています。

【22】

各学年の授業を実施していて、特に問題だと感じている点について、2つ以内で選んでください。

160件の回答





## その他（16件）

- ・言語活動の活性化やどんな技術をどのように活用するかのような改善が考えられるかを学習させることに時間を費やし、ものづくりの「技能」を習得する時間が激減している。（資源のない日本に、技術・技能は、必要ないのか？ という疑問が残る）
- ・教科担当以外に、授業準備、工具の整理、ごみの分別等の大変さが伝わりにくい。
- ・クラス数が多すぎる。
- ・評価人数の多さと非常勤講師（勤務の関係など）との情報の共有が難しい
- ・学習内容は毎年ほとんど変わらないが、問題の出し方を練って変えなければならないので、テストの作問に大きな苦労がある。3学年分同時に作ったり、他教科（家庭科）も作ったりしなければならず、平日だけの勤務では到底おわらない。そうすると、普段の授業準備にも影響がでてきてしまう。
- ・適切な発問なのか。
- ・評価として妥当であるのか。
- ・実習道具の準備片付け、評価に時間がかかる
- ・教材の価格高騰
- ・専門分野以外の他教科であるため、教材研究が十分にできてない。内容と時間とも足りない状態で、しかも3学年受け持つとなると大変だと感じている。
- ・23クラスを1人で授業しているので授業準備など時間がない。
- ・文科からのトップダウンなやり方にうんざりしている。
- ・21クラスの生徒管理（810名程度）
- ・我が国の技術教育に不足しているのは、材料と加工やエネルギー変換の技術を横断的に学習する建設技術です。ドイツ、アメリカ、カナダ、韓国などの教育課程を参考に検討してほしい。そのためには、各学年35時間は確保しなければならない。今年度、横須賀工高に建設科が新設された。地元の建設業界の声が決め手だったらいい。建設技術の新設をきっかけに時数増を声高に主張していただきたい。
- ・技術科の教員がいない。（3学年を分けて他教科の教員が担当している。）
- ・前任の教員が体調を崩して退職、10月から着任した。教材を購入したままの状況で、残りの期間で指導計画通り実施することが困難な状況である。
- ・受け持つ時間が多すぎて、生徒個々に丁寧な指導ができない。自分の時間もない。
- ・人員不足と非常勤職員への研修体制の不足

【23】小中高での学習内容が重ならないよう、どのように情報を得ていますか。

（110件）

※生徒から聞く、アンケートなど（15回答）、得ていない、特になし、気にしないなど（16回答）

- ・生徒に直接聞くことが主になっている。基本的にはやってもやってなくても（複数の小学校から生徒が来るため生徒の学習状況が違うため）復習と言う形で授業することがある。
- ・小中連携の意見交換のときに小学校の先生と確認しております。
- ・小学校の内容は生徒からの聞き取り。高校は特にありません。
- ・小学校については、子どもたちから学習した内容を聞いています。高校については、情報の教科書を見ています。
- ・情報を自ら集めているが、現場の声を聞かないとわからない。
- ・小学校の内容は毎年中学一年生に聞く。高校の内容はネットで検索する。
- ・教員の小中交流授業見学及び意見交換会を行なっている。
- ・小中合同授業研修会。

- ・小学校と高校の先生とのやり取りはなし。中学1年生の生徒に聞く。
- ・重なっても良いと思っていますが。小中連携事業の研究会で情報交換を行っています。
- ・小中学校の交流などから情報を得ている。
- ・小中合同の教科会で情報を得ている。
- ・小学校とは小中連携のタイミングで聞き取り。高校は進路訪問時に聞き取り。
- ・小学校、高等学校の学習内容を調べる。
- ・それぞれ聞き込みもするが、各校によって内容も違うので苦慮している。特にプログラミングはそれが顕著。教材も高価なものが多く、自分である程度できればいいが、GIGA端末の担当もしている関係で業務多忙に付き難しい。
- ・学区の小学校と研究会の実施。
- ・十分には得られていない。中1の初回ガイダンスでアンケートを実施し、小学生時の内容について聞き取りを行う。しかし、汲沢中学校いずみ分級は全生徒が児童心理治療施設から通学してくるために、年度中の生徒の転入/転出も多く全ての生徒が何をどれだけ学習してきているかの把握は困難な状況にある。  
また進学先も一般校、養護学校、サポート校と多岐に及ぶために、学習内容が重ならないようにするための情報の共有や発信はできていない。
- ・多数の小学校から進学がある為、一年生の初回ガイダンス時にアンケートを取り小学校での学習内容に関して聞き取りを行っています。中高一貫校で、高校「情報科」の教員が身近にいるため、普段の授業の進捗状況を高校の教員と共有しています。
- ・小中連携の集まりでの情報収集。学習指導要領の参照など。
- ・小中ブロックでの授業参観や懇談会などを活用している。
- ・教育課程研究会での情報交換と文科省のページ。
- ・高校の情報の研修もオンラインで見ることができるので、参加している。
- ・小中授業研を通して情報共有している。
- ・小中交流等でプログラミング教育や生物育成の内容を確認。高校とは繋がりが無いので教科書等をいくつか確認。
- ・学習指導要領や国立教育政策研究所の資料。
- ・小中交流会、高校の授業内容は卒業生より情報を得る。
- ・義務教育学校では、小学校の先生が同じ職員室にいたので、聞くことができます。
- ・校種合同の研究授業。
- ・小中授業交流。
- ・小中交流で、意見や状況を聞く程度。
- ・入学時に小学校で学習した内容をアンケートで聞き取りをする。高校とは連携を取ったことがありませんが、高校には技術という名前の授業はなく、より専門で学びたい人は専門学科などで学べることを生徒には伝えていきます。
- ・生徒に事前に学習した内容のアンケートを実施する。
- ・小学校での学習内容は中学1年のガイダンス時に把握する。高校での学習内容は高校情報の教科書などを見せてもらい、そこに接続できるような授業内容にしている。
- ・前回の指導要領で既習事項をまとめたものが福井県から出されていたので、参考にしているが、現行でもまとめられたものがあれば参考にしたい。
- ・小学校の内容については生徒からの聞き取りが中心。高校の内容については指導要領を覗く程度で殆ど情報が無い。
- ・小学校の情報を生徒から得たり、小学校の教科書を参考にしたりしている。
- ・小学校の図工の教科書などを読む。
- ・特に情報は取ることはやっていないが、授業中に生徒に聞いて確認したりすることがある。
- ・学習指導要領
- ・小中連携の時間がそれほどとれないので、生徒の学習震度などを基準に…。
- ・小学校教諭向けのプログラミング研修に参加している。

- ・研修等で他校種の先生方とお会いする際に状況を把握する。
- ・何も考えていない、そんな暇はない。
- ・学習指導要領等の確認や事前のレディネス調査から情報を得る用になっている。
- ・学習指導要領、生徒の話が主。しかし多少重なったほうが復習になってよいとは思いますが。
- ・他校種の学習指導要領や教科書から。
- ・情報のやり取りはできていない。卒業生が来校した際に聞いたところ、同じ題材を使用していると聞いたことがある。
- ・教科書サイトを見たりしている。
- ・年2回、小学校の先生との情報交換会で確認している。特にプログラミング。
- ・個人的に内容が重なっても良いと考えています。内容が同じでも、その年齢に応じてレベルが違えば良いと思います。現に、他教科でも同じ内容を小中高でやっています。技術も同様に問題ないのではないのでしょうか？なので、特に情報は得ていません。
- ・ホームページ等。
- ・指導主事や他校の技術科の先生との情報共有。
- ・定期的に近隣の小学校や高校の授業を見学しています。
- ・同地区の小学校、高等学校と研修会を行う際に確認している
- ・小中学校で連携を図り、教員同士で情報共有の場をもうけていた。（最近ではコロナの関係で交流の場がなくなっている。）
- ・小学校の職員と情報交換をしている。
- ・研修会や担当者会での情報共有やインターネットによる情報収集。
- ・年に数回、近隣の小中学校で集まって話し合いを行っている。
- ・地区の学校で打ち合わせを行っている。（小中合同会議的なもの）
- ・通常は大学で授業をしている。国、県、市から情報を得ている。
- ・小学校とは情報交換をしている。
- ・学習指導要領を読む。
- ・近隣の学校との情報交換。
- ・小学校で何を教えているかはその都度聞いている。高校とは情報交換できていない。
- ・各ガイダンスでとるアンケート、小学校との交流会（コロナで縮小化）など。
- ・小学校への授業見学時の情報交換、生徒からの情報提供。
- ・研修会などで得る一般的な情報を参考にしている。
- ・小学校の教員の時があれば、生徒に聞くこともある。
- ・そのような機会やシステムが無い。小学校は学級によって統一がとられていない。
- ・小学校の教諭から、どのようなことをやっていたかを確認した。
- ・定期的に中学校区の小学校の先生方と定例会を実施し、教育活動全般の情報共有を行っている。
- ・出身小学校によって違うので、始めの授業で確認している。高校は情報や理科等の指導要領を参考にしている。高等学校の情報と理科の免許を所有しているので、大まかには把握している。
- ・小中交流の会議等。
- ・小学校とは小中交流会があるので情報を得ることができるが、高校の情報を得ることはできていない。
- ・近隣の小学校と情報交換をしている。
- ・小中一貫の授業研究会での情報収集、高校に関しては新聞発表、インターネット等で情報収集。
- ・学習指導要領の確認。